

I 調査の実施概要

1 調査の目的

佐賀県の公立小・中学校及び義務教育学校の児童生徒の学習状況を把握・分析し、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。各学校は、児童生徒一人一人の調査結果を踏まえた指導改善を行うとともに、県教育委員会は、課題解決に向けた施策の見直しや充実を図る。

なお、調査に当たっては、市町教育委員会と県教育委員会が連携・協力し実施する。

2 調査実施日

令和3年12月1日(水)、2日(木)

3 調査内容

- 各教科における児童生徒の学習状況を把握するための「教科に関する調査」
 - ・小4、小5 国語、算数
 - ・小6 国語、社会、算数、理科
 - ・中1、中2 国語、社会、数学、理科、英語

4 調査方法

- 教科に関する調査
 - ・小学校 各教科 45分 各学校で時間を設定して実施
 - ・中学校 各教科 50分 各学校で時間を設定して実施

5 調査結果の指標

- 教科に関する調査

児童生徒の学習状況を測る基準値として、「到達基準」〔注1〕を示している。「到達基準」は、小問ごとに設定した「期待正答率」〔注2〕を集約したものである。

6 調査対象及び調査人数

	学校数	学年	人数
小学校	165	第4学年	7,424
		第5学年	7,391
		第6学年	7,349
中学校	94	第1学年(県立中学校を含む)	7,119
		第2学年(県立中学校を含む)	6,968
計			36,251

(調査人数には、集計対象としない児童生徒を含みます。)

小学校数は、義務教育学校前期課程（6校）及び県立特別支援学校小学部（4校）を含む。中学校数は、義務教育学校後期課程（6校）、県立中学校（4校）及び県立特別支援学校中学部（5校）を含む。

〔注1〕到達基準について

「到達基準」は、小問ごとに設定した「期待正答率」を集約したもので、最低限これを上回ることが必要であると判断される基準である。事前に設定した「到達基準」と調査結果を比較することにより、到達度を測ることができる。

また、各学校においては、この到達基準を基に、自校の調査結果を分析し、自校の取組を検証するとともに、課題に応じた重点目標を設定し、解決に向けた指導の工夫・改善に役立てることができる。

〔注2〕期待正答率について

「期待正答率」とは、受検した児童生徒のうち、最低限これを上回ることが必要であると判断される者の人数の割合であり、問題の特性や難易度に応じて、小問ごとに設定している。

「期待正答率」の値は、以下のとおりである。

■期待正答率

問題分類	A	B	C	D	E
基準値	70%	60%	50%	40%	30%